

こどもとも、じぶんとも、向き合える。それが、

岡山市の教員3名に集まっていただき、教員の仕事の魅力について語っていただきました。

巻頭特集 | 座談会インタビュー



先輩のやりがいは？
インタビューの様子を動画で
チェック！



教員歴
12年

A 小学校 教諭

子育て経験あり
県内出身

教員歴
2年

B 小学校 教諭

県外出身

教員歴
14年

C 中学校 教諭

県外教諭経験あり
県外出身

岡山市で勤務する便利さを様々なシーンで実感します。

B: 岡山駅には新幹線のぞみが停まるので帰省の時にとても便利です。私の両親は転勤族で色々な場所に住んできました。岡山市は交通の便も良く、関東方面への帰省もしやすいです。

C: 修学旅行や校外学習などで他都市へも出ていきやすく、学習の幅が広がる点も有難いですね。また、関西圏には車を使って数時間程度で移動できるため、生活圏が広がります。岡山市は様々な面で住みやすい場所ですね。

A: 岡山市で就職すると遠方への転勤が無いので、引越しの必要もほとんどありません。実際に現在の勤務校までの通勤時間はとても短く、朝は余裕

を持って出勤することができるため助かっています。

B: 大学生から社会人になる際、私の赴任校は岡山市内だったので転居はせず、通勤用の車の駐車場を契約するだけで済みました。今後、勤務校が変わったとしても転居しなくても良いのは時間も費用もかからず暮らしやすいと思います。

C: 仕事と同様に大切にしていきたいのが家庭。勤務地が近いと、移動時間が短くなり家族と過ごす時間を確保できます。家庭で過ごす時間が少しでも長くなることは何よりもありがたいですね。

子育てをしながらでも働きやすい環境が整っています。

A: 僕はクラス担任をもっており、家族の事情で休みをとる際には、同学年の先生や別の学年の先生に助けてもらっています。困った時に支えていただける環境はとても有難いと感じます。逆の立場になった際には、先生方へ恩返しをしたいと思います。

C: 子どもが熱を出したり、体調が悪くなったりしたときは、急遽休まないといけなくなることも多いですね。出産・育児の関係で休むことができる職場は、働いていて安心感も大きいです。

B: 先生方がいきいきと働くことのできる職場は、本当に素敵ですね。



岡山市教職員の生き方。

校務の負担減少にも積極的で、本来の仕事に専念できます。

C: 岡山市は「学校業務アシスト職員」の導入を先駆的に行っています。「学校業務アシスト職員」は、教員が自身の業務に専念できるよう配置される職員のごとで、私も日頃からお世話になっています。先日は、保護者会や進路相談などで使用する大事な資料を印刷してもらい、部数を数えて、ホッチキスで留めるところまでの一連の業務を担っていただきました。自分1人でやると1~2時間かかりますが、サポートがあるおかげで子どもに関わる時間が生まれるので、助かっています。

B: 授業で使う大量のプリントを事前に印刷して、クラスのボックスの中に入れてくださったりと、子どもが給食中に使っていたエプロンが破れてしまった際にすぐ直してくださったりと、本当に細かいところで助けてもらっています。

A: 例えば掃除や、備品の補充など、僕たちが見ていないところで学校運営全体に深く関わってくださっていますよね。気付かないところで支えられているんだらうなと感じます。

B: また、令和6年度から学校給食費管理システム導入により給食費の集金業務もスムーズになりましたね。それまでは現金を手渡しで集金していたので、朝、子どもたちが5~6000円を持って登校しており、集金後はとても大きな金額になっていました。それを教員が入金するまで預かっているため、無くしたらどうしよう、数え間違いがあったら不安だなと、朝から緊張状態です。現在では口座引き落としになったので心理的負担が減りました。校務負担が減少した分、確保できた時間は授業研究に充てています。「子どものためにな

る授業をしたい」という気持ちで教員になったので、少しでもその目標に近づけたら嬉しいです。

A: 同感です。授業の他にも教員には様々な仕事があります。一つひとつの業務にかかる時間が増えると、落ち着いて対処できるので業務のクオリティーも上がりますよね。また、時間ができれば、その分だけ子どもたちをしっかりと見つめることにも繋がると思います。

C: 私の担当教科は理科なのですが、実験中の安全確保のためには準備や片付けを丁寧に行うことが大切です。ちょっとした校務の負担が減ることで、授業の土台作りに時間を充てることができます。休み時間は子どもたちとのコミュニケーションの時間も増やしていきたいですね。



給与に関する手当もあり、
岡山市で働く恩恵を感じます。



C: 岡山市では初任給調整手当や地域手当により給与面でのフォローも充実しています。この初任給調整手当とは、教員の初任給の水準を引き上げるための手当ですが、実際に恩恵を感じる場面はありますか？

B: 令和5年の4月からスタートした制度で、私は着任当初から初任給調整手当や地域手当がついていました。給与明細を見た時には、やはり恩恵を感じますね。初任給調整手当は着任1年目から5年間継続してもらえるので、計算すると大きな金額になります。

A: 羨ましいですね。 **C:** 昔はなかったなあ。

岡山市の教育現場は、
「チームワーク」が自慢です。

B: 教育現場でのチームワークは何よりも大事にしたいと思っています。昨年の冬にインフルエンザにかかり、1週間教室を空けてしまうことになった際に、助け合いの大切さを改めて感じました。私はクラス担任を持っており、多くの先生が「私が代わりに入るよ!」と声をかけてくださったのです。急なことだったにも関わらず、子どもたちの授業なども全部段取りを組んでくださいました。しかも、入ってくださった先生が子どもたちに「休んでいる先生に手紙を書いてあげよう」と便箋を配っており、私が復帰した際にクラス全員分の手紙を渡していただきました。「みんな頑張ってたから、その様子を見てあげて」と。手紙を読むと、私がない間にどんな活動をして何を頑張ったのか、手に取るようにわかり、涙が出るくらい嬉しかったのを覚えています。こんなに良くしてもらったのだから、他の先生方に何かあった時は絶対に恩返しします!という気持ちでいつも働かせていただいているんです。

C: 先生同士の助け合いや、チームワークの良さは大切です。人として周囲と協力しあえる先生でありたいですし、やはり先生たちが仲良く元気に過ごしている様子を、子どもたちはよく見えています。子どもは大人以上に空気を敏感に感じ取っているんです。だからこそ、先生も楽しく働いて、良い表情を見られるように意識したいですね。

将来教員になる皆さんへ、
最後に一言!

教員になる前は不安もありましたが、今は可愛い子どもたちに囲まれてとっても楽しい毎日をご過ごしています。皆さんも、ぜひ教員を目指して頑張ってください。岡山市で待っています!

私たちと一緒に
働きましょう!

